

ID ^{注1)}	031115	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 / 調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／ 櫛石山斜面における中・大型哺乳類生息状況調査						発行年月/報告年月	
							2004年	2月
							資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	森 治((有)下北野生生物研究所)
------	----------------------	------	-------------------

調査開始年	1995年	調査期間	1995年	4月	～	1997年	4月
-------	-------	------	-------	----	---	-------	----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	調査時期 ^{注2)}	春
---------------------	----	---------------------	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
------------------------	---------

<input checked="" type="checkbox"/> 核心地域 <input type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域 <input type="checkbox"/> GPS等の位置データあり	<p>■調査目的 中・大型哺乳類の生息概況を把握するため、地元の有力者及び本調査の調査者、調査補助社に依頼する目撃記録調査を行った。</p> <p>■調査手法 目撃記録は、対象地域を世界遺産地域周辺も含めた地域とし、記録票・記入の仕方・記入例・地図を配布し、発見の都度記入してもらい後日回収した。また、モニタリングエリアにおける中・大型哺乳類のフィールドサイン調査を行った。調査は櫛石山斜面を湯とするが、ツキノワグマは「泊の平」のほうに痕跡が多いので両エリアを対象とした。また、両エリアに至る経路も対象とした。フィールドサイン調査は、食痕・糞・足跡を基本とするが、ツキノワグマについてはクマ剥ぎ・クマ棚・枝折りも対象とした。</p>
<p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>	

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

①聞き込み調査
平成13年の秋田県藤原町、八森町、青森県岩崎村、深浦町、鱒ヶ沢町、西目屋村での聞き込み調査を行ったが、正解遺産地域の核心地域内部についての情報は限られていた。

②記録依頼調査
平成11年から、白神世界遺産センター関係者、本計画の調査員、森林管理署関係者、白神山地ビジターセンター等の入山者に、目撃観察記録表への記入を依頼した。
その結果、平成11年には19件の情報があり、そのうち、中・大型哺乳類に関する情報は15件、うち直接観察は8件であった。平成12年は16件の情報があり、そのうち中・大型哺乳類に関する情報は13件、うち直接観察は8件であった。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ※「原本（データ）」の帰属について※
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考